

ビタミンD+オメガ3系脂肪酸

V D

魚油をベースとしたソフトカプセル

羊毛脂由来のビタミンD₃(コレカルシフェノール)を
魚油を基剤として1カプセルに1,000IU(25μg)配合しています。



1日の摂取量	内容量	希望小売価格
1 カプセル	60 カプセル(60日分)	1,620 円(税込)

成分配合量: 1カプセルあたり

ビタミンD	25 μg (1,000IU)
魚油	140 mg

原材料

ゼラチン

EPA含有精製魚油(国内製造)、ゼラチン、
グリセリン、ビタミンD

原産国／加工国

EPA含有精製魚油 ベルー・チリ・モロッコ他／日本

ゼラチン(カプセル皮膜素材) EU／ヘルギー

グリセリン(カプセル皮膜素材) マレーシア・フィリピン・インドネシア／日本

ビタミンD₃(羊毛由来) オーストラリア・ニュージーランド・アメリカ合
／日本

お召し上がり方の目安 1日1カプセルを目安に、水と一緒に召し上がりください。

お摂りになる
タイミングについて

サプリメントは「食品」ですので、いつお摂りいただいてもいいのですが、特に、ビタミンDは脂溶性ビタミンであるため、1日のうちで食事量が最も多い食後が吸收面からベストなタイミングであるという研究報告があります。

推奨摂取時期

妊娠前・妊娠中



PARTNERS

パートナーズ サプリ

WEBカタログはこちらから >



ビタミンDについて

VD ビタミンD+オメガ3系脂肪酸



欠乏しやすいビタミンD

主にカルシウムの吸収を助け、健康な骨をつくる脂溶性ビタミンであるビタミンDが近年、生殖活動においても大変重要な役割を担っていることがわかつてきました。一方、日本人の妊婦の90%にビタミンD欠乏が認められるとの臨床報告があり、不足しやすいビタミンとされています。



ビタミンDと妊娠、出産

ビタミンDが不足すると生殖医療の治療成績や妊娠後の母子の健康にマイナスの影響を及ぼすかもしれないという研究報告が多くなされています。



日焼け止めを常用されている女性に。

ビタミンDの供給源は「体内合成」と「食事」で、食事からは20%未満とされています。体内では紫外線を浴びることでビタミンDがつくられています。日焼け止めの使用頻度とビタミンD濃度の関係を調べた研究で、使用頻度が高くなると不足を招くリスクが上昇すると報告されています。



ビタミンDは紫外線の働きで
体内でつくられます

ビタミンDは、食事(魚やキノコ等)から摂取していますが、必要な量の多くは紫外線を利用して皮膚でつくられています。

日光にあたると皮膚でコレステロールから紫外線の働きでプレビタミンDがつくられます。その後、ビタミンDに変換され、肝臓に運ばれてビタミンDの充足度の指標とされている $25(OH)D$ に変換されます。さらに、腎臓で活性型ビタミンD $1,25(OH)_2D$ に変換され、作用が発揮されるようになります。

